

- じっくり取り組んでいたら、先生に「あと〇分で終わります」と言われてあせった。
- 課題が早く終わったので、ボーッと過ごしていた。
- 先生がわかりきったことを説明しているとき、全く違うことを考えていた。
- 全然意味が分からない授業を、ただ黙ってやり過ごしていた。

こんな経験は、誰にでもあるのではないのでしょうか。人はみんな違うのですから、同じことを同じ時間で行うのには無理があります。

汐路小学校では、今年度「一人一人が主役の学び～自分で選び、自分で決める場を設定した学習を通して～」というテーマで、授業の工夫をしています。

10月の授業参観で、「各自が自分で学習内容を決めて取り組む学習（自由進度学習）」にチャレンジした学級もありました。授業中、子どもたちが教室内を立ち歩く様子、床や廊下で学習する様子を見て、驚かれた保護者の方もいらっしゃったことでしょう。

自由進度学習に取り組む子どもたちの様子を見た私の第一印象は、「全員が学習している」ということです。ぼーっとしている子、無駄話をしている子は一人もいません。苦手なところをできるようにしようと取り組む子、教師主導の授業では見られないような発展的な学習に取り組む子などがいて、子ども同士の教え合い、学び合いも自然に生まれています。

私は、自由進度学習に取り組んだ1年生の児童とこんな会話をしました。

「今日の授業、どうだった？」

「楽しかった」

「どういうところが？」

「自分で決めるところが楽しかった！」

頼もしいですね。自分で学ぶ内容や方法を決める、試行錯誤しながら挑戦する、という経験を積み重ねることで、将来、自分の力で人生を切り拓いていく力が育つのだと思います。



<廊下で資料を探しています>

9月に「ナゴヤ学びのコンパス」が公表されました。これは、全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう、名古屋市の学びの基本的な考えを示したものです。ここでは、重視したい学びの姿として、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探究する」の3つを挙げています。

本校の努力点は、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」という部分に焦点を当てています。自由進度学習に取り組んでいるときは、授業中でも立ち歩いたり、床に座っていたりすることがあります。一見、遊んでいるように見えるかもしれませんが、一斉授業でぼーっとしているときよりも頭の中はフル回転しているはずです。

少しずつですが、今、学校は変わりつつあります。